

科目名	コンピュータ利用技術Ⅱ	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Computer Use Skills Ⅱ	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
ふりがな	たきもり たけし	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	瀧 森 威	修得単位	2単位	
授業のテーマ	Excel2013の応用とマクロプログラミングを修得し、Excelをより効率よく利用できるようになる。			
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1. ピボットテーブルや3D集計等のExcelの応用的な使い方ができるようになる。 2. マクロの記録や登録ができるようになる。 3. マクロで基本的なプログラムを書くことができるようになる。			
授業概要	Excel2013の応用とマクロの記録や登録の方法、Visual Basic Editorの基本操作、VBAの基本文法、モジュールとプロシージャ、変数と制御構造、デバッグ方法等を学習します。 実践的なプログラム例として、商品データの抽出や得意先データの印刷、販売データの入力などを行う販売管理プログラムを作成する。			
授業計画				
第1回	Excel2013の応用①（基本の復習、表作成）			
第2回	Excel2013の応用②（高度なグラフ）			
第3回	Excel2013の応用③（ピボットテーブル、3D集計、便利な関数）			
第4回	マクロ概要、マクロ/VBAの基礎知識			
第5回	マクロ/VBAの基礎知識			
第6回	マクロの作成、編集			
第7回	マクロの作成、編集			
第8回	モジュールとプロシージャ			
第9回	モジュールとプロシージャ（オブジェクト、プロパティ、メソッド）			
第10回	プロシージャの作成			
第11回	変数と制御構造（If～Then）			
第12回	変数と制御構造（Select～Case、For～Next）			
第13回	変数と制御構造（Do～Loop、Do～While、Do Until～Loop）			
第14回	販売プログラムの作成			
第15回	販売プログラムの作成、デバッグ方法、まとめ			
第16回	第16回 テスト			
授業時間外の学習	1. 前回の復習（1.0時間程度）をしてから、次回の授業に備えてください。 2. 授業前に教科書の該当箇所に必ず目を通してください。（0.5時間程度） アプリケーションソフトを利用するだけでなく、システムを構築する能力を養いますので、プログラム能力も求められます。したがって、普段から論理的な思考を心がけてください。			
履修条件 受講のルール	コンピュータ入門、情報科学の単位を修得していることが望ましい。 2年次前期科目のプログラミングも受講すると、アルゴリズムやフローチャートの作り方を理解することができ、この科目の理解度も増します。教科書は必ず購入してください。適宜資料を配布しますが、欠席した学生は配布資料の有無を確認し、研究室まで取りに来てください。			
テキスト	富士通エフ・オー・エム株式会社 よくわかる Microsoft Excel2013 マクロ/VBA（本体2,600円 税別）			
参考文献・資料	富士通エフ・オー・エム株式会社 よくわかる Microsoft Excel2013 プログラミング実践			
成績評価の方法	試験 50%、演習課題 20%、実習課題 30%、総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・課題は必ず提出することが前提で、授業内又は掲示板で指示します。			
オフィスアワー	毎週金曜日 10:40～12:10、13:00～14:30 これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。			
成績評価の基準	平成28年度（2016）以降入学した学生 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 平成27年度（2015）以前入学した学生 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）			
学生へのメッセージ	オフィスソフトの中でもExcelは必須です。徹底的にマスターしてください。 課題は必ず提出することが前提。試験の受験資格は、欠席回数が4回以内の学生です。			